

令和5年度 総務部長マニフェスト

総務部長

長根 英俊

【基本方針】

まちづくりの基本理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」の実現に向け、久慈市総合計画に掲げた事務事業の確実な進捗を図るため、職員一人ひとりの力を結集し組織として取り組んでいく必要があります。複雑多岐にわたる業務が増えていくなか、職員の能力を十分に発揮していくためには、仕事と休みとのメリハリの付けた生活が肝心であり、ワークライフバランスのとれる職場づくりに取り組みます。

また、近年多発してきている自然災害や、昨年県が公表した最大クラスの津波へ備えるため、自助・共助・公助を組み合わせ、万全を期していきます。

加えて、より一層の財源確保に努めます。

【重点目標】

1 業務改善とワークライフバランス

●内容

- 限られた職員で近年の複雑多岐にわたる行政需要に応じていくため、職員が能力を十分に発揮し対応していく必要があります。ワークライフバランスの実現が重要です。
- 総務部各課において、働き方改革・業務の効率化の観点から事務事業の改善を行います。
職員提案数5件
- 有給休暇の取得促進
休暇を有効に生かし、リフレッシュし仕事に臨むため
R4取得日数5日未満56人→10人以下
- 男性職員の育休取得率の向上
男性の育休取得率
現行 政府目標(2025年までに30%)
目標の引き上げ
先行的に 公務員 2025年 85%
↓
市職員 2023年 85%(1週間以上の取得)

2 地域防災力の強化

●内容

- 近年多発する豪雨災害、県が公表した最大クラスの津波浸水・被害想定への対応については、自助・共助・公助の取組を組み合わせ、災害からの犠牲者ゼロを目指します。そのために市民一人ひとりの防災力・防災意識を一層高め、地域防災力の強化を図ります。
- 自主防災組織の結成率100%を目指します
- 消防団員の確保
R5新規入団者20人(R4 15人)
消防団の役割・活躍をPRするとともに、入団相談会を開催。
- 防災士の養成
防災士養成講座の開催及び防災士ネットワーク構築。
- 津波避難訓練開催
R4参加者1,879人 → R5 2,500人以上
市内小中学校の児童・生徒を通して、保護者に子供の命を守るための避難訓練への参加を依頼。

3 持続可能な財政運営

●内容

- 市税の適正な課税・収納を行い、自主財源の確保に努めるとともに、持続可能な財政運営とするため「選択と集中」「スクラップ&ビルド」を進めます。
- 市税(現年課税分たばこ税等除く)の収納率
市税滞納者に対し早期アクションを起こし、徴収体制の強化を図り、市税の収納率維持・向上を目指します。
R3 99.38%(県内4位)→ R5 99.38%以上
- 全ての事務・事業のゼロベースからの見直しを行い、今年度当初予算から一般財源△5,000万円
- 市債プライマリーバランスの黒字
起債残額の減少＝一般財源の確保

令和5年度 総合政策部長マニフェスト

総合政策部長

下山 琢也

【基本方針】

総合政策部は、市の横断的な政策に係る企画立案・総合調整をはじめ、行財政改革・自治体DXの推進、地域づくり活動の支援、公共交通の確保、市政情報の発信などを主な業務としています。

基本理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」の実現に向けて、総合計画の適正な進行管理を行うとともに、そのリーディングプロジェクトとして策定した総合戦略を推進することで少子化、人口減少の抑制に努め、将来にわたって子どもたちの笑顔が絶えないまちづくりに取り組みます。

【重点目標】

1 総合計画、総合戦略の推進

●内容

- 総合計画の施策と指標、総合戦略の基本目標とKPI(重要業績評価指標)を基に進捗状況を把握し、総合計画に掲げる目標達成に向けて取り組みます。
- 総合計画の35施策に係る市民満足度アンケートの平均満足度3.09を目指します。
- 総合計画の140指標の進捗率90%を目指します。
- 総合戦略の7つの基本目標、40のKPIの進捗率85%を目指します。

2 行財政改革、ふるさと納税の推進

●内容

- 限られた財源を効率よく活用し、持続可能な行政運営を行うため、既存の事業の徹底した見直しを行うとともに、ふるさと納税を推進し、財源確保を図ります。
- 事業の見直し(事業の統廃合等)による財源の確保2.5億円を目指します。
- ふるさと納税寄付額4億円を目指します。
- 自治体DX推進計画に掲げる各種目標の達成に努め、各目標・課題の達成目標20件を目指します。

3 地域力の向上、情報発信、移住定住の促進

●内容

- 市民センターを拠点に、市民参加による地域づくり活動を支援します。また、移住定住を促進し、人口減少抑制の一助とします。
- 「協働のまちづくり」の理解促進と地域が策定するアクションプランの策定支援を進めるため、地区単位の地域づくりワークショップ等を50回開催します。
- 「自主防災組織」結成に係る取組支援回数270回を目指します。
- 地域コミュニティ振興事業等の件数20件を目指します。
- 市政情報を積極的に発信し、久慈市及びイベント等への興味・関心を高めるため、情報の発信件数450件を目指します。
- 移住定住相談25人を目指します。

4 公共交通の利用推進	
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民の生活の足である路線バス、鉄道といった公共交通機関の維持・存続に向け、利用促進運動に取り組みます。 ● 公共交通利用促進事業の実施件数35件、参加人数500人を目指します。 	

令和5年度 生活福祉部長マニフェスト

生活福祉部長 久松 希美子

【基本方針】

「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」「共に支え、元気で安らぎあるまちづくり」のため、子育て環境や社会福祉の充実、市民の健康維持・向上、健康寿命の延伸に向けた取組の推進、各種相談支援体制の充実などに取り組みます。また、持続可能な循環型社会の構築に向け、環境問題に対する意識啓発に努めるとともに、ごみの減量化・資源化に取り組みます。

少子高齢化、人口減少が進んでいることから、各種施設や福祉サービスの在り方等について中長期的な視点で検討を進めます。

新型コロナウイルス感染症や各種疾病を予防するため、関係機関と連携し適切なワクチン接種に取り組みます。

【重点目標】

1 社会福祉の充実

●内容

- 自力で避難が困難な住民の不安を解消するため「避難行動要支援者支援事業」の周知に努め、要支援者の名簿登録率の向上に取り組みます。
(R4実績72.4%→R5目標74.0%)
- 要支援者の個別避難計画策定支援に努めます。
(R4実績8.13%→R5目標30.0%)
- 高齢者の孤立化を防ぎ、元気で生き生きと暮らせるよう、いきいき百歳体操やふれあいサロン、各種出前講座等を開催し、健康寿命の延伸、重度要介護認定率の減少を目指します。
 - ・ 重度要介護認定率
(R4実績6.73%→R5目標6.20%)
 - ・ 通いの場等の新規開設数(R5目標2団体)
 - ・ 各種出前講座・講演会等の実施回数
(R4実績159回→R5目標160回)

2 各種相談支援体制の充実

●内容

- 市民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備に向け、関係各課等において協議を行い、重層的支援体制の構築を目指します。
(連携強化に向けた勉強会等の開催 R5目標3回)
(重層的支援体制構築アドバイザーによる講義の開催 R5目標1回)
- 消費トラブル等を未然に防ぐため、出前講座の開催、広報等を活用した情報提供、注意喚起、相談先の周知等に努めます。
(出前講座の開催 R5目標3回以上)

3 子育て環境の充実

●内容

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や教育・保育施設の適切な運営・管理など、安心して子育てができる環境の整備に努めます。
- 子どもの医療費助成について、対象を高校生まで拡大したことから、適正な給付に努めると共に、現物給付の実施に向け関係機関との調整に努めます。
- 「子ども第三の居場所」について、令和6年度から運用開始できるよう、関係機関と連携し整備促進に努めます。
- 子育て支援情報誌や子育て支援センターだよりを発行し、子育ての窓口やサービス等地域資源の周知を図ります。また、子育て支援に関する情報発信ツールとして導入した子育て応援アプリ「くじこぶり」の利用者数増に努めます。
(累計ユーザー数 R4実績348人→R5目標450人)

4 環境対策の推進	
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ごみの分別・資源化に関する周知啓発を行い、市民一人当たりのごみ排出量の抑制に努めます。(R4排出量362.8kg→R5排出量352.6kg(2.9%減)) ■ 環境問題への関心を高めるため、環境学習会や出前講座を実施するほか、各種媒体を活用し意識醸成に努めます。 (学習会・出前講座の開催 R5目標2回以上) ■ 自治会等所有の防犯灯について、LED化に係る市からの補助金嵩上げの情報提供を行い、LED化を促進します。 (R5目標 LED化100灯) 	

5 保健活動の充実	
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各種健康診査や各種がん検診等の受診率の向上を図り、疾病の早期発見、早期治療につなげます。 (国保特定健診受診率 R4:41.9%→R5:47.5%) (後期高齢健診受診率 R4:25.5%→R5:26.5%) ■ 生活習慣病の予防など、健康づくりの知識の普及を図ります。 (講演会の開催 R5目標:1回以上) ■ 新型コロナワクチンやHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン等、各種予防接種について、関係機関と連携し適切な体制の整備及び接種勧奨に努めます。 	

令和5年度 産業経済部長マニフェスト

産業経済部長

谷崎 勉

【基本方針】

農林水産業は高齢化と担い手不足が進行しており、担い手の確保・育成に向けて、関係機関等との連携によって新規就業への誘導に努めます。

久慈市の魅力発信と交流人口の拡大に向けては、三陸沿岸道路の開通効果を最大限発揮すべく、新山根温泉べっぴんの湯の宿泊再開、道の駅いわて北三陸のオープン、「あまちゃん」放送10周年の関連イベントの開催、各種観光イベントや体験型観光の情報発信の強化に取り組むとともに、秋まつりなどの各種観光イベントについても、新型コロナウイルスの感染状況を適切に判断しながら、地域経済の活力再生に取り組みます。

また、地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を長期に渡って受け続けており、各種支援策の周知と丁寧な対応によって各種支援制度の活用を促すとともに、商工業の振興を図るため、市街地への新規出店に対する支援及び既存企業の持続的発展への支援に努めます。

【重点目標】

1 農林水産業の担い手確保と基盤強化

●内容

- 農業の振興を図るため、県・農協等の関係団体と連携し、就業相談会や作業体験、PR冊子等の配布を行い、新規就業者の育成・確保を目指します。(新規就業者8人、多面的機能支払い交付金活用地区10地区)
- 木の仕事協議会等と連携し、林業の新規従事への誘導に努めるとともに、健全な市有林育成及び私有林の管理を促すため、計画的な施業及び補助を行います。(新規就業者3人、施業面積59ha、森林整備支援4件)
- 久慈市就業者育成協議会等と連携し、水産業の新規従事への誘導に努めるとともに、地域水産業の担い手を育成するための取組を進めます。(新規就業者3人、いわて水産アカデミー入講内定者1人)

2 魅力発信と交流人口の拡大

●内容

- 道の駅「いわて北三陸」をゲートウェーとした交流人口の拡大による地域経済の活性化に取り組みます。(施設利用者293千人、年間売上高264百万円)
- 白樺、琥珀、海女といった地域資源及び久慈秋まつりなどの各種イベントの情報発信により集客の増加に努めます。(市内主要観光施設(6施設)入込数130万人)
- ひと・もの・ことの地域資源を最大限活用し、教育旅行等の体験型観光を推進し、利用客の増加を目指します。(体験型観光受入延べ人数4,000人(ふるさと体験学習協会受入))
- 首都圏でのシティプロモーション強化の拠点である「おかえり館」を積極的に活用し、イベント開催等によって当市の魅力発信に努めます。(イベント開催10回)

3 商工業の振興と中心市街地の活性化

●内容

- 長引くコロナ禍で苦境に直面する商工業者等の経営を支えるべく、適時適切に支援策を講じ、早期回復に取り組みます。
- 中心市街地の活性化に向けて、空き店舗の有効活用を促すことで、商店街に不足している業種の確保、若者が集える場の創造に努めます。(空き店舗活用出店数3件)
- 中心市街地活性化の核施設である土風館とYOMUNOSU並びに道の駅「いわて北三陸」の周遊を促進し、市内の賑わいを創出するための各種イベントの開催を支援します。(10事業)

令和5年度 企業立地港湾部長マニフェスト

企業立地港湾部長 大崎 健司

【基本方針】

人口減少や少子高齢化という厳しい状況に立ち向かい、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、市政が持続的な発展を続けるよう、市内経済の活性化及び産業振興に取り組みます。

企業誘致及び既存企業の増設などの促進による雇用機会の創出を図るとともに、学校、企業及び行政が一体となってキャリア教育の充実を図ることで、若い世代が地元で「就職し、定着したい」と思えるような雇用環境づくりを進めます。

脱炭素社会の構築を目指し、久慈地域エネルギー㈱と連携し、地域に裨益するエネルギーの地産地消に取り組むとともに、市内公共施設及び民間事業所への再エネ導入促進及び久慈市沖洋上風力発電事業の事業化に向け取り組みます。

市民の生命と財産を守る久慈港湾口防波堤について、2033(令和15)年度に完成されるよう要望活動を行うとともに、久慈港長期構想策定による長期的な視点による空間利用が見込まれるよう、国・県とともに取り組みます。

【重点目標】

1 若者定着を促進するための魅力ある産業のまちづくりの推進		
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元企業と連携し、学校・企業・行政が一体となって「地域ぐるみ」によるキャリア教育事業を推進します。 ● 教育担当者・事業所担当者研修会(7月)、合同職業講演会「キャリアオーケストラ」(10月)、合同職業体験「社会体験Week」(11月)を関連付けて一連の流れとして実施。 ■ 市内企業が学生の就職動向などを把握できるよう、情報共有会を開催し、必要に応じて大学等就職担当者の助言を受け、個別企業の採用活動に寄り添い伴走型支援を行い、Kターン就職及び採用後の定着を促進するなど、魅力ある企業づくりに取り組みます。 ● 「久慈管内新規高卒者の管内就職率」の向上(R4実績40.2%→R5目標44.8%) ● 大卒人材等確保に向けた情報共有会開催(3回) ● アドバイザー派遣(延べ50時間) 		

2 雇用の場の確保に向けた企業誘致等の推進		
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業誘致や新增設の支援、既立地企業のフォローアップによる雇用環境の向上に努め、岩手県及び岩手県土地開発公社と連携を図り、久慈地区拠点工業団地に企業集積が進むよう取り組みます。また、RE100宣言企業及び再生可能エネルギー関連事業者等が市内への事業進出意欲が高まるよう、企業訪問及び情報交換に努め、新たな産業用地選定に取り組みます。 ● 起業・立地奨励補助金活用件数(R4実績1件→R5目標1件) ● 産業用地適地調査報告書作成 		

3 再生可能エネルギーの導入促進		
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 脱炭素社会の実現及び再エネ導入促進による地域経済への波及効果に資するため、市が出資する久慈地域エネルギー㈱と連携し、エネルギーの地産地消を推進します。本年度から5年間山形町で実施する脱炭素選考地域関連事業について、理解醸成を図り地域の再エネ化が促進されるよう住民の理解醸成に努めます。 ● 脱炭素選考地域説明会(山形町8地区) ■ 久慈市沖洋上風力発電事業が2030年に事業化されることを目指し、国・県及び発電事業者及びステークホルダー等関係者との情報交換及び協議に努めます。また、環境省委託事業による「令和5年度浮体式洋上風力発電による脱炭素化ビジネス促進事業」を活用し、久慈市沖基礎調査の継続と発電事業者による民間共同風況調査が円滑に進むよう取り組みます。 ● 久慈市沖浮体式洋上風力発電検討委員会開催(3回) ■ 陸域における再エネ導入促進エリアを設定するためのゾーニング調査及び追加的な環境調査を実施し、ゾーニング案等をもとに地域住民等との合意形成を図りながらゾーニングマップを完成させます。 ● 久慈市陸域再生可能エネルギーゾーニング協議会(3回) ● 陸域再エネゾーニング報告書作成 		

4 久慈港の整備促進	
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国の直轄事業により整備が進められている久慈港湾口防波堤(全体延長3,800m、令和15年度完成予定)の整備が着実に進むよう、関係省庁への要望活動を行います。 ・ 国に対する要望活動(2回) ・ 久慈港湾口防波堤整備延長(R4実績2,857m→R5目標2,917m) ■ 重要港湾久慈港が久慈市沖洋上風力発電の拠点港湾として基地港湾に指定されるよう、今後20年から30年程度の長期的視点で空間利用を検討するとともに、産業集積が図られるよう関係機関及び関連事業者等との協議に取り組みます。 ・ 岩手県による久慈港長期構想策定 	

令和5年度 建設部長マニフェスト

建設部長

大澤 匡弘

【基本方針】

「災害につよいまちづくり」「市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」を基本方針に、道路や橋梁、公園等の社会インフラの計画的な維持管理、そして市政発展の基盤となる社会インフラの整備や広域幹線道路等の要望活動等を実施します。

また、久慈川水系の流域治水プロジェクトに基づき、県営事業である小屋畑川河川改修事業の促進に向け関係機関と協働で取り組むとともに、市道や普通河川等の浸水対策に取り組めます。

【重点目標】

1 安全で快適な市民生活を確保する社会インフラの維持管理

●内容

■ 持続可能な社会インフラを目指し、適切かつ計画的な維持管理の実施と地域住民との協働による維持補修を行います。

- ① 橋梁(78橋)の点検を計画的に実施するほか、修繕が必要な橋梁(15橋)の調査・詳細設計を実施します。
- ② 老朽化した橋梁(4橋)、公園施設(2施設)の補修等に計画的に取り組めます。
- ③ 地域の課題である市道等及び小水路について、市民協働道路等維持補修事業により、市内10箇所を整備・補修を実施します。
- ④ 「久慈市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、新川井団地10棟の改修工事に必要な設計を行います。

2 市民が安心して暮らせる防災対策の推進

●内容

■ 豪雨災害による被災箇所の早期復旧を目指すとともに、自然災害の予防、浸水対策及び法面崩落対策などの防災対策に取り組めます。

- ① 道路法面や道路施設の予防保全対策(3路線)に取り組めます。
- ② 令和4年8月豪雨により被災した土木施設及び都市施設の年度内完成(補助19件、単独54件)を目指します。
- ③ 豪雨時に生じる道路冠水等(6路線、1河川)の解消に取り組めます。
- ④ 準用河川及び普通河川の堆積土砂撤去を行い、河川の治水能力の確保(4河川)に取り組めます。
- ⑤ 小屋畑川の河川改修事業(県事業)の促進を図られるよう、道路・橋梁等の市管理施設に係る各種協議の他、地域住民との合意形成に鋭意協力します。
- ⑥ 災害の防止、円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、無電柱化(1路線)に取り組めます。
- ⑦ 民間木造住宅の耐震診断(5戸)の実施と、耐震改修工事(1戸)への補助を行います。

3 安全・安心で住みよいまちづくりの推進	
<p>●内容</p> <p>■ 元気と安らぎにあふれる街並みの環境整備を推進し、通学児童などの歩行者通行の安全性を確保するとともに、交通の円滑化を図るため、歩行環境等の整備に取り組みます。</p> <p>① 通学児童等の安全確保のため、関係機関と安全点検を実施し、危険個所の把握に努めます。</p> <p>② 安全な歩行空間の確保のため、歩道(4路線)や区画線等(2路線)の整備に取り組みます。</p> <p>③ 未改良、幅員狭小、急カーブ、急勾配の解消(4路線)に取り組みます。</p> <p>④ 小屋畑川の河川改修事業(県事業)に関連し、小屋畑川沿いのまちづくりについて検討します。</p>	

4 多様化する市民ニーズと地域振興へ繋がる社会インフラの充実	
<p>●内容</p> <p>■ 久慈港の利用促進や新たな企業立地に繋がる広域幹線道路等の要望活動を行い、早期完成・事業促進に向けて取り組みます。</p> <p>① 国道281号(案内～戸呂町口間)の改良整備の促進や、「岩手県新広域道路交通計画」において、将来の高規格道路としての役割が期待されている構想路線「(仮称)久慈内陸道路」の早期実現に向けて要望活動を行います。</p> <p>② 令和3年度に全線開通した三陸沿岸道路のさらなる利活用等について、関係機関と連携し、要望活動を行います。</p> <p>③ その他路線や河川についても、平常時・災害時の別を問わない安全で安心な道路網の整備や治水等に向けた要望活動を行います。</p>	

令和5年度 山形総合支所長マニフェスト

山形総合支所長

下斗米 洋之

【基本方針】

地域づくり活動の推進について、山形町の維持・発展のため、住民自らが取り組む地域づくり活動を支援します。

短角牛の振興については、生産者と関係機関が一体となり、安心・安全・ヘルシーな赤身肉であることを広く情報発信し、増頭対策及び販売拡大に取り組みます。また、市指定無形民俗文化財である「牛の角突き」の継承に努めるとともに、観光資源としての闘牛を更に発展させていきます。

観光の振興については、平庭高原、内間木などの観光資源を活用したイベントを開催し、誘客と地域の活性化に取り組みます。特に日本一の白樺美林を有する平庭高原の環境整備を行い、白樺林の維持・再生に積極的に取り組みます。

さらに、郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向け、地域の皆さんと共に様々な事業を実施します。

【重点目標】

1 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の協議・実践に向けた委員会の開催

●内容

- 昨年度策定した山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の協議・実践など、20年後の山形町の望ましい将来像を目指すためのアクション(行動)へと進めるための委員会を開催します。
- 「SNSの活用」、「久慈溪流の景観活用」、「支え合い(見守り)体制づくり」、「子育てしやすい環境づくり」への取り組みの推進
(R5目標5回) 【コロナ影響】

2 市民団体が行う地域づくり活動に対する情報及び補助金の支援

●内容

- 地元愛の醸成及び山形町における地域振興・文化継承・環境保全・人材育成等を図ることを目的に、主体的に取り組む地域や団体に対して助成事業の紹介及び相談、支援を行うとともに、活用を促し地域づくり活動を支援します。
- 地域コミュニティ振興事業
(R5目標10件、補助額10,000千円) 【コロナ影響】
- 地域づくりに係る支援事業の紹介及び支援
(R5目標3件) 【コロナ影響】

3 山形総合支所の移転に向けた取組の推進

●内容

- 山形総合支所の移転について、手法や問題把握のための「移転対策会議作業部会」の開催や、移転への理解を深めてもらうため、行政連絡区長等との「あり方検討会」、また、全庁的な「支所移転対策会議」を開催します。
- 山形総合支所移転対策会議作業部会の開催
(R5目標3回)
- 山形総合支所のあり方検討会の開催
(R5目標3回) 【コロナ影響】
- 山形総合支所移転対策会議の開催
(R5目標2回)
- 来庁者の実態調査(各窓口にて実施、通年)

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

4 山形村短角牛振興と闘牛文化の発展継承、及びまめぶ食文化遺産登録		
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 安全安心な山形村短角牛の生産振興と積極的なPRを行い、販路開拓と消費拡大に努めるとともに、「生産者と消費者の顔の見える関係」の構築維持のため消費者等との交流事業を行います。また、闘牛大会の開催による集客と更なる知名度の向上、闘牛文化の継承活動に取り組みます。さらに、郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向けた事業を実施します。 • ベゴツァー参加者 (R5目標45人) 【コロナ影響】 • 盛岡や八戸、及び首都圏(ホテルニューオータニ)での短角牛消費拡大イベント開催によるPR (R5目標 盛岡200人、八戸100人、首都圏50人) 【コロナ影響】 • 闘牛大会の開催 (R5目標 4場所開催、年間来場者3,500人) わかば場所(5月)300人、つつじ場所(6月)1,000人、しらかば場所(9月)1,000人、もみじ場所(10月)1,200人 【コロナ影響】 • 山形町郷土食保存継承の会とともに各種事業を展開 (R5目標 未来継承講座80人、郷土食フェスタ200人) 【コロナ影響】 • 短角牛生産基盤の強化、及びエリート牧場の草地更新 (R5 草地更新10ha) 		

5 平庭高原の環境整備と日本一の白樺美林の再生		
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平庭高原環境整備ボランティア「くじ☆ラボ」の活動支援やイベントを開催し、平庭高原の白樺美林整備促進による適正な環境保全と観光客の誘客に繋がる活動に取り組みます。また、中長期的な白樺林の再生の取り組みとして、令和3年度から、現況調査及び技術指針の策定に着手しており、令和5年度に完成させます。 • くじ☆ラボ延べ参加者 (R5目標230人) 【コロナ影響】 • 白樺林の下草刈り (R5目標2回) 【コロナ影響】 • 白樺の植樹 (R5目標200本) 【コロナ影響】 • レンゲツツジの植樹 (R5目標164本) 【コロナ影響】 • 白樺林再生に係る現況調査及び技術指針の策定及び管理計画の策定、白樺再生協議会の設立 • セイコーウオッチなどの民間企業との連携を図り、日本一の白樺美林の環境保全への取組 • 国道沿いの白樺危険木の除去及び景観整備の取組 		

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

令和5年度 会計管理者マニフェスト

会計管理者 畠山 健治

【基本方針】

会計課は、現金・有価証券・物品の出納及び保管、支出負担行為に関する確認、決算の調製などを主な業務としています。
久慈市の健全な行財政運営に資するため、会計事務の適正な執行に努めるとともに、公金の適正管理と確実な運用を行います。

【重点目標】

1 会計事務の適正な執行

●内容

- 会計書類の迅速かつ的確な審査と迅速な支払いを行うため、会計事務に関する留意事項等を職員に周知するとともに、不備のある書類については、随時、審査票や直接指導をし、事務の効率化を図ります。
- 会計事務に関する庁内掲示板での周知を10回以上行います。
- 例月現金出納検査における特記事項0件を目指します。

2 公金の適正管理と確実な運用

●内容

- 支払準備金に不足が生じないよう、常に収入支出見込額を把握し、必要に応じて関係課と連携しながら繰替運用などの対応を行うとともに、厳しい財政状況の中、運用資金は限られますが、確実な方法による資金運用を行います。また、公金を取り扱う金融機関の検査を計画的に行います。
- 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を各行1回実施します。
- 収納事務受託者の検査を3団体以上実施します。

3 人材育成と超過勤務の縮減(ワーク・ライフ・バランス)

●内容

- 会計課職員に必要な知識や事務能力の向上のため、外部研修への参加やOJTを通じた人材育成に取り組みます。また、ワーク・ライフ・バランスの取れた職場環境を目指し、執務体制を工夫しながら、超過勤務の縮減に努めます。
- 岩手県都市会計協議会が主催する職員研修会に職員を派遣します。【コロナ影響】
- 課内の超過勤務時間を前年度比で10%削減することを目指します。【コロナ影響】(超過勤務時間の推移 R4: 1,039h、R3: 775h、R2: 1,640h)

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

令和5年度 上下水道部長マニフェスト

上下水道部長	田面 巧
--------	------

【基本方針】

上下水道部では、「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」に向けて、市民の生命・財産を守るため、大雨による浸水対策として、雨水排水ポンプ場の整備を推進します。また、水道水の安心・安全な安定供給を行うため、水道本管の更新や施設の維持管理に取り組みます。加えて、下水道の管路整備と、住宅等の下水接続補助を拡充するなど、水洗化率の向上を図り、生活環境の改善と、水環境の水質保全に取り組みます。

なお、上水道事業、下水道事業ともに、人口減少による収入減少や、施設更新費等が課題であることから、長期的な収支計画のもと、持続可能な経営に努めます。

【重点目標】

1 浸水対策の推進

●内容

- 近年、頻発・激甚化する大雨の内水(浸水)対策として、新井田・十八日町・田高地区の雨水排水ポンプ場の整備を進めます。新井田地区は令和5年12月、十八日町・田高地区は令和6年3月の完成を目指します。
- ・ 新井田地区 : 電気設備(据付)工事の施工
外構工事の施工
試運転調整の実施
- ・ 十八日町地区: 機械設備(据付)工事の施工
電気設備(据付)工事の施工
外構工事の発注
試運転調整の実施
- ・ 田高地区 : 土木工事の施工
機械設備(据付)工事の施工
電気設備(据付)工事の施工
外構工事の発注
試運転調整の実施

2 安定した給水体制の確保

●内容

- 災害に強い水道網を構築するため、耐震性が低く老朽化した夏井地区等の配水管(塩化ビニル管)について、1.5kmの管路更新工事(高密度ポリエチレン管)を実施します。

3 汚水処理施設の整備

●内容

- 生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、長内町地区の汚水管渠について、900mの敷設工事を実施します。
- 浄化槽設置整備事業では、60基の浄化槽の設置に対して、補助を実施します。また、新規事業として既存住宅の宅内配管等に係る嵩上げ補助24件を実施します。
- 公共下水道の接続率向上のために、公共下水道水洗化促進事業について、国庫補助事業を活用した継続事業54件(供用開始3年以内)に加え、新規事業として55件(供用開始3年経過)の補助を実施します。
- 漁業集落排水の接続率向上のために、漁業集落排水処理施設水洗化促進事業について、新規事業として30件の補助を実施します。

4 公営企業の効率的な運営	
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地方公営企業である上下水道事業について、それぞれの経営戦略に沿って健全で持続可能な経営を行います。 • 水道メーター検針の省力化・自動化の検証のため、スマートメーターを9基導入し、水道メーターボックスの異なる環境ごとの効果と課題を洗い出し、費用対効果を算定します。 • 令和4年度に下水道事業経営戦略を改定したところですが、水道事業においても、健全で持続可能な、質の高い経営を進めるための、水道事業の経営戦略改定に向けて、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用します。 	

令和5年度 教育部長マニフェスト

教育部長	笹原 賢二
------	-------

【基本方針】

教育理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈 ～総合力豊かな人材を育てるまちづくり～」の実現に向けて、学校教育及び生涯学習の充実を推進するとともに、生涯スポーツの振興に取り組めます。

また、第1期久慈市教育振興基本計画に基づき、中期的かつ総合的な展望を持ち、教育行政を計画的・体系的に進めていきます。

【重点目標】

1 学校教育の充実

●内容

- 小中学生の学力向上のため、指導主事の訪問や各種研修会の充実により、各学校の授業の改善を行います。CRT(教研式標準学力検査)による「学習状況が良好な児童生徒の割合」を小学生は86.0%以上、中学生は69.0%以上を目標とします。
- ICTを活用した学習活動の充実に向けた支援を行います。
 - ・ 児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合90.0%以上を目標とします。
- 児童生徒が快適で、安心・安全な学校生活を送れるよう、学校施設の整備に努めます。
- ・ 久慈湊小学校移転改築事業を推進します。(造成工事等)
- 小中学校の適正配置について、「小中学校の適正配置に関する基本方針」に基づき、後期計画の説明を行います。
- ・ 対象となる保護者及び地域住民に、1学区あたり3回以上説明会を実施します。
- 通学路の安全確保のため、通学路交通安全プログラムに基づき通学路の合同点検を実施し、安全対策を実施します。
- ・ 注意喚起のため、2箇所看板を設置します。

2 生涯学習の充実

●内容

- 子どもから高齢者までの多種多様な学習意欲を支援するため、求めているものの把握を行い、その学習機会の提供に努めます。
- ・ 「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」及び「まちづくり直送便」による講師派遣、出前講座の実施回数80回、利用者数2,000人を目標とします。
- 利用しやすい図書館を目指すため、様々なニーズを持つ利用者に配慮するとともに、青少年の読書活動の推進に取り組めます。
- ・ 子どもたちの健やかな成長を支援するための講演会やワークショップを3回以上実施します。
- 市民1人当たりの図書貸出数5冊を目標とします。
- アンバーホール開館25周年記念事業等を実施し、芸術文化への関心を高めます。
- ・ 自主事業来場者数 平均7割以上を目標とします。
- 久慈市の文化財の保護及び伝統芸能の継承等を行うことにより文化遺産を後世に伝える取り組みを行います。
- ・ 新たな取り組みを1回以上行います。

3 生涯スポーツの振興

●内容

- 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的に継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりのできる環境の整備に努めます。
- ・ テレビ放送10周年記念大会となる「久慈あまちゃんマラソン大会」を開催し、当市の魅力を発信します。参加人数については1,200人を目標とします。
- 「柔道のまちづくりの推進」のため、三船久蔵十段生誕の地である「柔道のまち久慈」の今後の目指すべき将来ビジョンについて検討を行います。
- ・ 関係機関と3回以上情報交換を行います。